

教育総合センター だより

NO. 143

平成 29. 3. 1



「震災から学んだもの」 ～みんなで支え合い、常に前を向く～

学校教育課

課長 高橋 利浩

尼崎市は、2016年に100周年を迎えました。一番嬉しかった出来事は、その節目の年に、私自身OBである市立尼崎高等学校硬式野球部が、33年ぶり夏の甲子園に出場したことです。惜しくも1回戦で負けましたが、9回裏市尼のモットー『不撓不屈』（ふとうふくつ）の精神で2点差を同点にした粘り、そして、アルプススタンドがオレンジのメガホン一色になった光景は、今でも目に焼き付いています。選手たちから、たくさんの感動をいただきました。

私は、尼崎生まれの尼崎育ちで、半世紀あまり尼崎でお世話になり、たくさんの方たちの支えがあって今があると感謝しています。その中で、私の教育観が、変わった出来事を1つ紹介します。その出来事は、2011年3月11日に起きた東日本大震災から5カ月後の8月9日に被災地の中学校に訪問したことです。空港から車で気仙沼の市街地へ進み、国道から海岸まで車で行ける所まで行きましたが、家がほとんど流されている状態を見て唖然としました。地震の被害のみならず津波の被害が甚大であったことを痛感させられる惨状で、人がいきいきと暮らしていたであろうと思われる土地の面影はまったく残っていませんでした。私の心にも、だんだん穴が開いていくようでした。

しかし、その惨状の中でも人々の生活は確か

に存在していました。がれきを運ぶ作業員の方々の復興に向かう姿以外に、スーパーマーケットに向かう車の列、バスを待つ高校生、部活動へ向かう中学生。人々が困難な中でも、みんなで支え合い、日々の生活を送っていかうとするこうした姿が、私を勇気づけてくれました。

東日本大震災翌日の朝刊（朝日新聞「天声人語」）に、「人は弱い。弱いから支え合わなければいけない」という文章がありました。日本が、大震災による危機から立ち直るために、「ともに」生きる者同士がしっかり支え合うこと。それは、これからもずっと私たちに求められ続けることだと思います。そして、「被災した人たちのことを忘れず、今できることを一生懸命にやりとげていくこと」、それが「ともに」生きる私たちにできる「支援」ではないかと思えます。

最後に、西宮神社に『人間はなぜにうつむく空無限』という石碑があります。「人間はいろんな場面において、悩んだり、落ち込んだりします。そんな時でさえ空は、無限に広がっていて、雄大さを感じます」という意味ですが、この石碑を毎年見る度に被災地で頑張っている方たちの姿が思い出されます。みんなで支え合い、常に前を向いて生きているその姿を、これからも尼崎の子どもたちに伝えていきたいと思っています。

☆☆☆私が 嬉しく感じる授業、素敵だと感じる授業☆☆☆

1 授業改善アドバイザーとして

平成26年度に、「教職員の世代交代に伴う人材育成をスムーズに進め、授業・学級経営に係る指導力の向上を図ること」を目的として授業改善アドバイザーが配置され、3年が経過しようとしています。小学校では、4名のアドバイザーが市内41小学校を4つに分けて担当しています。

私の担当は11校で、今年度は76名の若い先生方に関わっています。参観した授業は、延べ275時間（12月末現在）を数えます。1日に6時間フルに参観することもあるが、体力的にハードなときもありますが、若い先生方の授業を参観できることに楽しさを感じています。

2 真剣に授業に取り組む若い先生方

若い先生方と時勢が異なる40年ほど前の私が若かったころと比べると大変失礼だとは思いますが、今の若い先生方はとても頑張っておられるというのが、私の率直な感想です。ベテランの先生方と違って、経験年数が浅いので授業力や学級経営力は十分ではないのですが、参観するたびに真剣に授業に取り組んでいる姿を見ることができからです。

3 私が嬉しく感じる授業、素敵だと感じる授業の紹介

指導力向上のための全てではありませんが、若い先生方へのアドバイスとして読んでいただければ幸いです。

① 子ども同士が支え合い、励まし合う姿が見られる授業

A先生は教職1年目です。先生の素敵なのは、常に笑顔で授業に臨まれているということです。それが子どもに安心感を与えるのでしょう。

子どもも柔らかく穏やかな表情で授業を楽しんでいます。時として子どもの発言を揶揄するような言葉があった時には授業を止め、何が良くないのかをきちんと説明して指導されるところも素敵です。ある授業では、勉強の苦手な子どもの発言に対して、周囲から「ほ～っ」「なるほど」の呟きが聞こえたり、発言のあとに拍手が起きたりしました。それを見つめる先生の笑顔も最高潮に達します。先生も子どもも、同じ時間と空間を共有することに喜びを感じているのでしょう。学び合うためのベースができていることに嬉しさを感じます。

② ねらいの達成に向けて先生の努力が見られる授業

B先生は教職2年目です。子どもの実態をとらえて単元の授業構想をもち、授業をされています。1時間の授業では、ねらい達成のために、授業形態や発問、板書、資料の準備、また、機器の活用などをしっかりと計画されます。教師の構想通りに展開することは少ないのですが、子どもを思い、一生懸命に1時間の授業を進めている姿に嬉しさを感じます。

③ 学習しやすく整った学習環境が見られる授業

C先生は教職3年目です。きちんとした性格の持ち主です。教室の清掃が行き届き、すべての物が整頓された状態にあります。壁面には学習に役立つポイントが掲示されていて、それを活用されます。絵画などの子どもの作品には、その説明が添えられています。子どもが心地良さを感じる学習環境を整えていることに嬉しさを感じます。

授業改善アドバイザー（元七松小学校長）

山村 定美

◇◇◇朝は考え 夜は寝るべし◇◇◇

ドーン。凄い衝撃音と共に直径30cmはあろうかと思われるコンクリート塊が天井から剥離し、天井板を直撃したのである。その塊が、天井板を突きぬけるとあわや大惨事である。検査の結果、即、立ち入り禁止命令が下される。それは、忘れない平成28年9月4日のことである。慣れ親しんできたはつらつ学級の閉館の瞬間である。

はつらつ学級には、バスケットボールのコート一面がとれるグラウンドがあった。そこでは、バスケットボールをはじめ、ソフトバレーボール、グラウンドゴルフ、ソフトテニス等多彩なスポーツを行ってきた。秋の恒例の運動会は、保護者、地域の皆様の参加のもと、それなりに盛大に行ってきたのも今では、いい思い出である。

代替場所を探し求めていたところ、市の『ひと咲施設整備担当課』のご厚意により、旧聖トマス大学の学生会館を借りうけることになった。新はつらつ学級の誕生である。そこは、エアコンが完備されトイレは最新設備で、ウォシュレットはもちろんのこと手洗いは温水、照明は自動点滅という文句のつけようのない施設である。しかし、課題がない訳ではない。市の中心部から東部に移転したということもあり、各学校の児童生徒には、通級に不便をかけていることは否めない。大庄地区の生徒は自転車で40～50分もかけて通級している有様である。

それと、旧聖トマス大学のキャンパスは、今、大がかりな工事が行われている。したがって、運動するスペースが確保できないことも大きな悩みである。不登校の児童生徒にとって外で日に当たりながらスポーツすることは、大きな意味がある。なぜなら、朝日を浴びることによって、昼夜逆転生活に陥っている生徒の体内時計を正常に戻すことができるからである。その機会がないというこ

とは、大きな痛手である。しかし、卓球台2台置ける部屋を確保いただき急場を凌いでいる。

はつらつ学級の教室には、次のような言葉を掲げている。

- 朝は考え ○ 昼は働き（学び）
- 夕べは食し ○ 夜は寝るべし

このような当たり前の人間の営みが乱れに乱れているのが、不登校生の実態である。朝は寝、昼は寝ているのである。

スマホ依存と不登校との相関性は大きい。そのメカニズムはこうである。仮に夜の12時までスマホに興じていたとする。スマホを触っている間は、交感神経が優位となり、脳はさえにさえわたっている。いざ、寝ようと床に入っても交感神経から副交感神経に切り替わるのに、2時間ほど要するので寝入るのは、午前2時過ぎとなる。したがって、朝は起きることができず、昼夜逆転生活となり、不登校生の誕生である。

親が病院に連れて行くと、一様に起立性調節障害と診断され、血圧を下げる薬と軽い誘眠剤と抗不安薬が処方されるのである。医者のお墨付きをもらった子どもは、安心して家に閉じこもるのである。

この頃、病院からリファーされる生徒が多く、入級の運びとなるケースが多い。なにわともあれ、はつらつ学級では、「はつらつから学校へ」を合い言葉に日々基礎学力の向上と自我強化に明け暮れている。4人の指導員は、学年が違い、学習進度が違い、習熟度が違い、なおかつ連続して通級してこない生徒相手に悪戦苦闘の連続である。

今日も夕日が、生徒の背を暖かく見守り、そして、押してくれているのである。

はつらつ学級指導員（元水堂小学校長）

高田 六造

教育情報コーナーへどうぞ

教育総合センター3階「教育情報コーナーmini」をお使いください。

新刊図書、今年度の雑誌、現行使用教科書及び指導書、前年度学校園・研究会刊行物等があります。教育総合センター利用時間（9時～20時30分）は自由にお使いいただけます。

また、来館せずに、庁内メール便を利用した貸出・返却も開始しています。詳しくは、①教育総合センターホームページ“情報コーナー”をご覧ください

▼①

ここをクリックすると、②の画面へ

ここをクリックすると、③の画面へ

▼③

ここをクリックすると、「資料貸出票」をダウンロードすることができます。

ここをクリックすると、「資料貸出票」の記入例が表示されます。

ここをクリックすると、最新の図書リストが表示されます。（1週間ごとに更新します）

3階中央フロアーは、「学びあいスペース」となっています。「教育情報コーナーmini」の資料の閲覧にもお使いいただけるだけでなく、パソコン（インターネット、ワード、エクセル等が入っています）4台が使用できます。

研究会、校内研修、学年の教材研究、ミーティングなど積極にご利用ください。

お問い合わせは、電話6494-3155担当・幾田までお願いいたします。